

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	学務課担当課長	廣川 智久
教育-23 学校保健事務		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 学務課 関連課 市民健康課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	安全・安心で開かれた学校づくり

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒
意図	児童生徒の健康の保持増進のため
効果	学校保健の円滑な実施と成果の確保を図る

2 平成26年度に実施した事業の概要

児童生徒の健康の保持・増進を図るため、各種検診や保健指導などを実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数	11,526人	事業の対象者数	11,501人	
運営資源状況	当初予算(千円)	61,128	決算値(千円)	58,814	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	61,128	一般財源	58,814	
	人員配置数	1.3	人員配置数	1.5	
事業経費	人件費(千円)	10,003	人件費(千円)	11,226	
	総事業費(千円)	71,131	総事業費(千円)	70,040	
	市民1人当りの経費(円)	401	市民1人当りの経費(円)	395	
	対象者1人当りの経費(円)	6,171	対象者1人当りの経費(円)	6,090	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	・学校保健事務を円滑に執行するために、学校医を委嘱している医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連携及び協力体制の強化や、学校保健事務で緊密な関わりをもつ養護教諭との連携・協議が必要である。 ・平成27年5月からの学齢簿システム導入により、就学時健康診断通知書発送等業務の見直しが必要である。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	・結核高まん延国からの帰国(来日)による転入者への結核健康診断精密検査について、平成25年度実施状況の検証を行い、結核対策委員会や委託先である医師会と協議検討し課題への対応を図った。 ・学齢簿システム導入に伴う就学時健診通知書等の様式の改訂や事務の方法等について検討を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	・学校保健安全法の一部改正により、定期健康診断の項目について検討を行う必要があり、引き続き医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連会や協力体制を強化し、学校や養護教諭との連携・協議を行いながら進めていく。 ・学齢簿システム導入に伴い改訂した就学時健診通知書や、事務の方法などについて検証を行う。	
効率性	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか	2. ない 3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない 9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない 9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない 3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市医師会・鎌倉市歯科医師会・鎌倉市薬剤師会
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 引き続き医師会や歯科医師会、薬剤師会と連携し協力体制をとりつつ、養護教諭とも協議や説明会などを実施し、手引きの作成など、事務改善に努めながら事務の効率化を図っていく。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 学校保健事務は主に学校保健安全法に定められた事務であり、対象となる児童生徒数や必要な器具の数等によって予算規模が拡大する。しかしながら、見込数の精査等を行うことにより必要最小限の拡大に努める。
総評	社会環境の変化に伴い、学校保健における医師会、歯科医師会及び薬剤師会と緊密な連携がより必要となってきたため、今後も意見交換等を実施し、業務の効率化を図っていく。また、養護教諭との関係においてもあらゆる機会を捉えて協議や説明会等を実施し、効率的な業務運営を図っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学校保健会理事会の開催数						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
学校保健関係者が協議連携を図る場として、開催が必要であるため。	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0				
	実績値	2.0									
	達成率	100.0%									
指標の内容	養護部会との定期健康診断打合せの回数						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
新年度の定期健康診断について、手引きを示しながらの全校養護教諭との打合せが必要であるため。	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
	実績値	1.0									
	達成率	100.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---